



令和5年度入学式 式辞

七十八回生、235名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日、先ほど、皆さんは少しの不安を持ちながらも、新しい生活に希望を抱き校門を通ったことと思います。

皆さんは小学校の後半3年間をコロナ禍の中で過ごしてきた学年です。行事等でも制約の多い中で行われてきたのではないのでしょうか。しかし、今、社会全体では、「ポストコロナ」という言葉が様々な場面で使われています。マスク着用が個人の判断が基本となることをはじめ、スポーツ観戦は声出しの応援が可能になり、盛り上がりを見せています。学校でも「マスクの着用を求めないことを基本とする」の通知が出されています。この入学式もその方針に即して実施しています。さらに5月には国の感染対策も大きく変わろうとしています。そうなれば、感染対策のため、禁止されていたことが、しても良いことに代わります。規制のない生活を心待ちにしています。

そのような状況下、新入生の皆さんは義務教育の後半、伝統ある二見中学校の一員となりました。皆さんの中学校での3年間は大変短いものですが、長い人生の中でも大きく心身共に変化する大切な3年間です。その中学校生活をどのように過ごしていけばよいのでしょうか。二つのことを話します。

まずひとつめです、何よりも自分のことをよく知り、そして自分を大切にしてください。人には得意なこと、苦手なこと、好きなこと、嫌いなことがあります。これから始まる生活には、教科の学習・部活動・友達関係・進路など、多くの出来事があります。思うように進めば問題はないのですが、

うまくいかないことも多くあります。そんな時こそあるがままの自分を受け入れてください。自分のことをよく知り、大切にできる人は、他者のことも価値ある存在と尊重し、多様な人々と協働できます。是非、まず自分のことを大切にしてください。

二つ目は学校は間違えたり失敗したりしてもいいところだ、ということです。様々なことに自分の意思でチャレンジしてください。間違えたり失敗したりすることから私たちは学びます。ただ、気をつけないといけないことがあります。同じ失敗を繰り返さないこと。そして、もし、人が失敗した時にはそのことを受け止めてあげてください。そうすれば失敗を恐れずに挑戦できる七十八回生になるでしょう。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これからの中学校生活三年間で、子どもたちは心身ともに大きく成長します。成長の過程では、大人に対して厳しい面を見せることもあります。一方、理想と現実のギャップに、悩んだり、不安が広がったりする時期でもあります。どうぞ常に目と心を離さず、よき相談相手となっていただきたいと思います。さらに、お子様が健やかに成長しますよう、教職員と手を携え、お力添えくださいますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新入生の皆さんの輝かしい未来と、ご出席いただきました保護者の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和5年4月11日
明石市立二見中学校長

